

組合の閉所日 ご迷惑おかけします
12月 1 日(月) 書記局会議
12月12日(金) ブロック書記研修
支部ホームページ
群会議の話題・あしば・すずらの閲覧
ユーザ名→何も入力せず(空白)
パスワードは、発行所(右)下を参照



第552号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪 2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
中川 和美
パスワード doken5940

秋の仲間づくり月間成果一覧

分会	目標	成果
国①	4	5
国②	2	1
国③	3	2
国④	3	4
国西	2	1
小①	3	2
前原	5	5
小西	2	2
東小	3	2
直属事業所	16	24
合計	43	48

秋の仲間増やし月間

要求実現のため「仲間をふやしもっといい組合へ」



前原町分会の訪問行動 「賃上げどうすれば」と対話弾む



橋本組織部長

2025年秋の拡大月間は「仲間をふやしもっといい組合へ」を合言葉に多くの仲間が大奮闘した結果、43人の支部月間目標を48人の成果で達成することができました。大奮闘いただいた仲間の皆さん大変お疲れ

仲間のみなさんのご奮闘に
心より感謝します

さまでした。
9月初旬の活動者会議では、青年部長の川添さんが「入っていてよかった東京土建」を紹介。自ら体験した熱中症、その対処法を組合で事前に学んでいたこと、特別教育を受けたら補助金ももらえたことなど報告がありました。また組織部有志4人が訪問行動のお手本?として寸劇を披露。悪い訪問、労災や国保の説

もちつき交流会

ご家族連れて
あそびにきてね

昨年のもちつき交流会



日時 12月7日(日)午前11時~
会場 組合事務所

女性の会・青年部・
後継者対策部共催



よくだし会を受けて開催した国①分会の合同群会議

全分会よくだし会の開催で
『合同群会議』の具体化すすむ

小井国分寺支部は今年度、支部と分会を良くするためにみんなで意見を出し合う会議(略称:よくだし会)を開催し、その名称のとおり議論を深めてきました。
3月から3回の支部・分会全体による会議を行ない、組合の基礎組織である群運営の課題として、自宅開催とその事により組合員同士の交流が行なえないこと、組合が伝えたいこと、組合員が知りたいことの情報伝達がいかにできないこと、それらにより運動発展に支障がでることなど、支部の全体的な課題を明らかにし

明をアドリブたっぷりで演じ、大きな笑い、「いいじゃん組合」と感想もあり訪問行動に弾みをつけました。

訪問対話では、「建設Gメン」「今こそ賃上げ」で対話が弾みました。仲間からは「社員から『賃金上げて』と要求があった。上位会社に賃金・単価の引き上げを要求したら、『ちょっと待ってほしい』と言われる

た。社員の生活も厳しい。貯蓄を崩し払うしかないかと考えていたところ。組合を通じて建設Gメンを活用したい」と組合へ期待の声もありました。引き続き要求実現に向け運動していきましょう。

できました。

その後、仲間づくり月間の中で組織強化の一環として、各分会ごとに分会よくだし会を8回開催しました。

▼『バスに乗り揺られてスタジオムに行こう』ビール片手持ち上げ ああ歌を歌おう(ザ ミッドウエスト バイキングス) 私も歌いますあの歌を▼FC東京のサポーターによるチャント(応援歌)で、今では特に重要な曲「ユルネバ」だ▼「ユール ネヴァーウォーク アローン」(あなたは決して一人ではない)。世界中の多くのサッカーチームサポーターがマフラを掲げて歌うアンセムで、団結と希望の象徴となっている▼リパブルFCサポーターが歌い続けてきた。リパブル港町の労働者階級に、困難や挑戦に立ち向かう強い意識と希望のメッセージとして、響き渡っている▼味スタでは、試合が終了すると流される曲がある。来日したオアシスの代表曲で、ドント ルックバック イン アンガー(怒りを込めて振り返るな)だ。東京ドームではアンコールで大合唱となった。歌詞はともかく、英国では人々に非常に愛されている曲だ▼味スタに通っていた頃は負け試合にこの曲が流され「負けの悔しさを乗り越えて前を向こう」みたいな解釈だろ▼サッカーといえは、ミスをした時の気持ちの切り替えが重要。『切り替えるよ、次!次!』ってそう簡単にはいきませんよって!自転車での帰り道、観音坂のきついことったらありやしない。

朝顔



呻きが聞こえてくるような「ああ！ 幽霊だ!!」

「宮地楽器ホー
パーパススベ
ースで「原爆
と人間展＆高
校生の絵展」
が開催され、
私は受付要員
として参加の
かたわら、展
示物を見た。

展示物に
「ああ！ 幽
霊だ!!」とい
う題名の被爆
体験証言者と
高校生との共
同制作による「原爆の絵」
があった。それは、皮膚が
はがれて垂れ下がった腕を
前に出して歩く、灰をかぶ
った被爆者であった。その
絵や他の展示写真を目の前
にしたとき、私は激しい怒
りが自分自身の内側から湧
き上がってくるのをはつき
りと感じた。被爆者に対し
て政府は何をしたか。不完
全で数少ない救済制度や救
済活動。戦争につながる自
衛隊の戦力増強を、もっと
もらしい理由をつけて正当
化しようとする態度。これ

らすべてが情けない。　　
　　いったい私たちに何がで
　　きるだろう。戦争を二度と
　　繰り返さないことだ。なの
　　に、いまだに戦争を行なっ
　　ている国がある。まったく
　　嘆かわしいことだが、これ
　　は現実だ。

　　何度でも言いたい。あの
　　戦争による悲しみを二度と
　　繰り返してはいけない。あ
　　の忌まわしい戦争を。

　　世界中の人々は、平和運
　　動を推進し、原水爆禁止運
　　動を行なって、それぞれの
　　政府に対して働きかけるべ
　　きだ。

　　そうして永遠の平和を実
　　現しなければならぬ。



段ボールトイレの頑丈な構造に興味津々

10月5日(日)
園分寺市防災フ
エスタが都立武
蔵園分寺公園田
形広場で行なわ
れ、東京土建か
らは支部役員4
人が段ボールト
イレの展示、作
成方法の説明の
ほか、点検商法
の注意喚起、住
宅相談受付を行
いました。
訪れた市民

永遠の平和を望む
— 原爆と人間展を見て —

【国①分会・篠崎弘】

金井駅南口の宮地楽器ホー

同制作による「原爆の絵」

らすべてが情けない。
 いったい私たちに何がで
 きるだろう。戦争を二度と
 繰り返さないことだ。なの

国分寺市防災フェスタ
住まいは東京土建アピール

は、段ボールトイレの頑丈さを実際に座り、構造を見て確かめていました。ある市民は「いざという時に必要なので、作り方を教えて」と、準備した作り方冊子を持ち帰りました。

また、「住まいの相談、仕事の依頼は東京土建へ」と悪質な点検商法注意のチラシで宣伝し、市民からは「東京土建に相談すれば安心ですね」と対話が弾みました。

今回は、南雲副委員長と古谷仕事対策部長が初めてイベントステージに立ち、東京土建の紹介を行ないました。

建築業界で働きながら学ぶ お互いを高め合える仲間と出会え

東京建築カレッジの2つの特徴

①日本における建築の基本は木造にある、という考え方で、伝統的な大工技術を通して建築の基礎を学びます。

②働きながら学ぶスタイル。入学生は全員が建築従事者です。事業主が原則、教育費を負担するので、新規入職者は安心。



2026年4月入学生募集中

就職相談も受付中！相談はお気軽に
くわしくは 学校webサイトを
ご覧ください。



吉沢りんご園の看板を前に全員集合で仲良くパシャリ



楽しい雰囲気しか伝わってきませんね（笑）



【東小分・利根川 祐二】
10月21日(火)、22日(水)に行
なわれた、長楽の会の一泊
した。
当日の朝は、関越道の上
バス旅行に12人で参加しま
り線の事故渋滞でバスの到
着が1時間ほど遅れるとい
うハプニングがありました
が、車内は宴たけなわ、一
路みなかみ町へ。昼食の後
は谷川岳ロープウェイへ。

頂上の天神平は紅葉走りなるも、気温は5℃。散策の足も早めに宿の奥利根温泉ホテルサンバードへ。夕食と入浴後カラオケを楽しみ就寝。次の日は、りんご園でりんご袋詰め放題と鰻頭店立寄りを楽しみました。

特に、りんごは、あかぎ、陽光、新世界とどれも群馬県作の品種で、いずれも

光公民館まつりで木工指導

国④
分会



待つ子供が出るほど大人気の木工工作

10月19日(日)、国分寺第四分会は、第46回光公民館まつりに子供工作教室、住宅相談で参加しました。分会からは、工作指導を行なったベテラン組合員4人、初参加の若手組合員1人、受付の女性組合員2人のほ

か、古谷仕事対策部長、書記も応援に入り、総勢9人で取り組みました。春に行なった住宅デーの振り替え開催となります。

受付で子供たちの希望を聞き、本立てか花台を選んでもらい子供工作スタート。「しっかりと釘を見て」、「体を起こさないと力が入らないよ」などと作業の基本姿勢の指導のほかに、「金づち（玄能）は平らな部分で釘の頭を打ち、打ち終わりは反対の丸い面で打てば材料を傷つけないよ」と道具の使い分け方法など技術面での指導もわかりやすく行なっていました。

市内小学校に通う小学校3年生の女の子は花台作りを行ない、筋が良かったため、指導員から「女性の大工さんになるよ。あなたも大工さんにな

る?」の声に、
た作品を手を満
応えてくれまし
た。

若手組合員

木上がっ
毎年国分寺第四分会が協力
しています。

は、次年度の成功に向けたアイディアを出し、「次も参加します」と言ってくれました。

光公民館まつりでは、国分寺第二小学校の体育館と道路をつなぐ橋の設置も



授業・学校見学お気軽に



厚生労働省所管、東京都認定 職業能力開発短期大学校



東京建築カレッジ

〒170-0014 東京都豊島区池袋1-8-6
TEL 03-5950-1771 ✉ info@doken-college.ac.jp



体育館と道路をつなぐ橋